千葉市美術館 プレスリリース

2014年 9月9日(火)→ 10月19日(日)

鏑木清方と江戸の風情

かぶらき きよかた

展覧会概要

鏑木清方（明治 11 年～昭和 47 年／ 1878-1972）は戯作者條野採菊の子として東京神田に生まれ、浮世絵師月岡芳年の門人、水野年方から絵の手ほどきを受けました。はじめ挿絵を手がけ、やがて展覧会を活動の場とする日本画家となり成功を収めますが、清方が自身の造形と題材を模索するなかで見いだしたひとつの理想郷は江戸の浮世絵にありました。なかでも鈴木春信や鳥居清長、勝川春章といった絵師たちの作品世界に傾倒し、季節や場所の風情を尊ぶ江戸人の心情にも深く共鳴しながら、たおやかで粋な独自の美人画を確立していったのです。

そしていまひとつ、清方が生涯描き続けた理想郷は、江戸の風情が色濃く残る、幼時を過した明治の東京でした。清方は来し方を繰り返し見つめ、季節の風物や市井のさりげない日常、暮らしの細部を丁寧に掬い、描きとめています。とりわけ戦中から戦後にかけて、東京から江戸の風情のみならず明治の面影までもが失われたのち、清方の過去への憧憬はいよいよ募り、江戸情緒はより純化したかたちで作品に現れるようになったのです。

本展は､｢江戸の風情｣をテーマに鏑木清方の仕事を再考いたします。幼い頃親しんだ草双紙や修業時代の制作､画業を貫流する江戸情緒など､いくつかの視点から、清方と江戸とのつながりを探ります。また当館の所蔵品より関連する江戸期の作品をあわせて並べ、清方作品との共通項を観察します。清方が江戸に見いだした理想郷に光をあて、清方が真に描きたかったものを考える機会となれば幸いです。

※ 会期中に展示替があります。

◉ 会期　2014年9月9日(火)～10月19日(日)
◉ 主催　千葉市美術館
◉ 企画協力　鎌倉市 鏑木清方記念美術館
◉ 開館時間　10:00～18:00　金･土曜日　10:00～20:00　＊入場受付は閉館の30分前まで
◉ 休館日　第 1 月曜日(10月6日)
◉ 観覧料　一般 1000円(800円)　大学生 700円(560)円　＊10月18日(土)は｢市民の日｣につき､観覧無料
＊ 小･中･高校生､障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
＊( )内は前売り､団体20名以上､および市内にお住まいの65歳以上の方の料金
＊ 前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(8月31日まで)､ローソンチケット[Lコード:38206]､セブンイレブン[セブンコード:032-568]および､千葉都市モノレール｢千葉みなと駅｣｢千葉駅｣｢都賀駅｣｢千城台駅｣の窓口(10月19日まで)にて販売

見どころ

◉「清方美人」が生まれるまで

鏑木清方は美人画の名手として知られ、現在でも非常に人気の高い画家です。しかしその画業の始まりから、美人画の清方と呼ばれる画風の確立までについてはあまり知られていません。本展では、その過渡期を丁寧に掘り下げることで、清方の作品の本質を探ります。

◉ 清方の愛した浮世絵

清方が画風を確立するに至った、重要な存在が浮世絵でした。自らも浮世絵師の系譜でありながら、その流れとは異なる明和～天明期の浮世絵に傾倒し、画風にそのエッセンスを取り込むことで、清方の美人画が確立していきます。

展示では、鈴木春信や、最愛の浮世絵師・勝川春章の肉筆画など、清方が理想とした浮世絵の世界を本人の作品とならべ、清方の画業にどのような役割を果たしたのかを考えます。他の展覧会ではあまり見られない取り合わせです。

◉ 清方と2つの｢江戸｣

浮世絵に描かれた「江戸」だけでなく、清方は明治 20 ～ 30 年代当時の日常に残る「江戸」の風情にも目を向け、身の回りの何気ない暮らしを生涯にわたり描き続けています。「鏑木清方と江戸の風情」と銘打った本展では、清方作品の中でも江戸の風情を感じられる作品、そして清方の愛した浮世絵あわせて約 170 点を紹介します。

関連企画

◉ 講演会

「浮世絵未流　鏑木清方」(往復はがきによる事前申込制)
講師:小林忠(岡田美術館館長)
9月27日(土)／14:00～(13:30開場)／11階講堂にて／聴講無料
定員150名

「鏑木清方と江戸の風情」(往復はがきによる事前申込制)
講師:宮崎徹(鎌倉市鏑木清方記念美術館副館長・主任学芸員)
10月12日(日)／14:00～(13:30開場)／11階講堂にて／聴講無料
定員150名

[申込方法]
往復はがきに郵便番号、住所、電話番号、氏名、参加希望の講演会名、参加人数(２枚までお申込可)を明記の上、下記までお申し込みください。(お申し込みは講演会ごとに１人1通まで、応募多数の場合は抽選となります)
※「浮世絵未流　鏑木清方」は9月17日(水)、
「鏑木清方と江戸の風情」は10月1日(水)必着
〒260-8733　千葉市中央区中央3-10-8　千葉市美術館　イベント係

◉ さや堂de音楽會「江戸の絲芸」

出演:竹澤悦子(箏、地歌三味線)、木場大輔(胡弓)
江戸の風情を感じさせる古典曲や、三味線の新しい可能性を感じさせるナンバーをお送りします。(企画協力:恩地元子)
9月15日(月・祝)／14:00～15:00／1階さや堂ホールにて／観覧無料
先着150名(当日12:00より1階さや堂ホール入口にて整理券配布)

◉ ギャラリートーク

担当学芸員による　　9月10日(水)　14:00より
ボランティアスタッフによる　　会期中の毎週水曜日(9月10日を除く)
＊水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。
＊混雑時は中止する場合があります。

◉ 市民美術講座

「鏑木清方－絵師としての出発の頃」
講師:西山純子(当館学芸員)
9月20日(土)／14:00～(13:30開場)／11階講堂にて／聴講無料
先着150名

同時開催

深沢幸雄《骨疾E》1955年
千葉市美術館蔵

所蔵作品展　「七つ星—近年の収蔵作家たち—」
近年の収集作品から未紹介作品を中心に関連作品も含めて展示。岡本秋暉、椿貞雄、鈴木雄吉、金子周次、深沢幸雄、高田柳哉、高木東扇らの作品を紹介します。　※「鏑木清方と江戸の風情」展をご観覧の方は無料

記者レクチャー

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。スライドレクチャーにて作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧いただきます。
9月9日(火)／14:00より(1時間程度)／10階会議室にて(その後、8・7階展示室へご案内いたします)
参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

次回展予告

赤瀬川原平《宇宙の缶詰》1964/1994年
作家蔵
©赤瀬川原平／協力:SCAI THE BATHHOUSE

「赤瀬川原平の芸術原論」　会期:10月28日(火)～12月23日(火・祝)
「ネオ・ダダ」「ハイレッド・センター」に参加し、めまぐるしく変転する60年代前衛の最前線を駆け抜けた作家赤瀬川原平(1937－)。本展は赤瀬川の50年を超える歩みを回顧し、前衛芸術の枠内には収まりきれないこの作家の多彩な魅力を探ります。

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介くださいますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX にてご連絡ください。画像の使用は 1 回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。

鏑木清方と江戸の風情

1.《 西鶴　五人女のおまん 》
明治44(1911)年
名都美術館蔵

2.《 花見幕 》
昭和13(1938)年頃
島根県立石見美術館蔵

3.《 春雪 》
昭和21(1946)年
サントリー美術館蔵

4.《虫の音 》
昭和22(1947)年
鎌倉市鏑木清方
記念美術館蔵

5.『三枚続』(泉鏡花著)口絵
明治35(1902)年
鎌倉市鏑木清方記念美術館蔵

6.《 朝夕安居 》より
昭和23年(1948)年
鎌倉市鏑木清方記念美術館蔵

＊画像のトリミング、変形、部分使用、文字のせはご遠慮ください。

「鏑木清方と江戸の風情」展
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

千葉市美術館
広報担当 行
FAX: 043-221-2316

■ 写真ご使用に際してのお願い

* 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
* 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
* 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
* 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
* お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
  原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

貴社名 :	媒体名 :
ご担当者名 :	発行予定日 :
TEL :	発行部数 :
FAX :	定価 :
Email :	掲載予定コーナー名等 :
画像到着希望日 :　　月　　日　　時まで	画像の掲載サイズ（おおよそで結構です 例：5cm 四方、など）：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に〇をつけてください。）

1. 鏑木清方 《 西鶴　五人女のおまん 》 明治44（1911）年　名都美術館蔵
2. 鏑木清方 《 花見幕 》 昭和13(1938)年頃　島根県立石見美術館蔵
3. 鏑木清方 《 春雪 》 昭和21（1946）年　サントリー美術館蔵
4. 鏑木清方 《 虫の音 》 昭和22（1947）年　鎌倉市鏑木清方記念美術館蔵
5. 鏑木清方 『三枚続』（泉鏡花著）口絵　明治35(1902)年　鎌倉市鏑木清方記念美術館蔵
6. 鏑木清方 《 朝夕安居 》より　昭和23年(1948)年　鎌倉市鏑木清方記念美術館蔵

＊画像のトリミング、変形、部分使用、文字のせはご遠慮ください。

■プレゼント用招待券申込
（ご希望の場合はチェックをつけてください）

□ 5 組 10 名様分 希望します。
（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先
ご住所 : 〒

問い合わせ先
千葉市美術館　〒 260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8
Tel. 043-221-2311（代表）/ 043-221-2313（直通）
Fax. 043-221-2316
HP. http://www.ccma-net.jp/

担当学芸員：西山純子
広報担当：磯野 愛

記者レクチャー参加申込書

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。
スライドレクチャーにて作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧いただきます。

9月9日（火）　14：00より（1時間程度）　10階会議室にて

＊その後、8・7階展示室へご案内いたします

参加ご希望の方は下記にご記入の上、こちらの用紙を
FAX（043-221-2316）までご返信ください。

ご芳名 _____

ご所属 _____

貴媒体名 _____

お電話番号 _____

E-mail address _____

問い合わせ先　広報担当　磯野 愛
Tel. 043-221-2313（直通）

千葉市美術館
〒260-8733　千葉市中央区中央3-10-8
HP.　http://www.ccma-net.jp/